

**当院で心肺運動負荷試験を受けられた患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【研究機関名】

主任研究者：JA 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科 佐々木 祐磨
分担研究者：鈴鹿医療科学大学大学院 浅田 啓嗣

【研究課題名】

呼気終末酸素分圧による虚血性心疾患患者に対する予後予測能力の検討

【研究の意義・目的】

本研究は、虚血性心疾患患者のこれまでの診療情報を解析し、急性冠症候群や狭心症、心不全入院や脳卒中の発症を予測するための指標の有効性を検討することを目的としています。本研究の成果は、予後不良患者の早期発見や予後改善を目的とした包括的心臓リハビリテーションプログラムを開発するための基盤となることが期待されます。

【研究の方法】

1) 研究対象者

2016年1月1日から2021年8月31日までに虚血性心疾患発症後に当院で心肺運動負荷試験を実施した方

2) 研究期間

研究許可日より2027年3月31日まで

3) 使用する診療情報

性別、年齢、肥満度、心肺運動負荷試験結果、心エコー、血液検査、動脈硬化度検査、投薬状況、予後(3年間の急性冠症候群、狭心症、心不全入院、脳卒中発症など)

4) 情報の保存

調査により得られた情報を取り扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないように符号をつけて対応表を作成します。

5) 情報の保護

個人情報管理者は主任研究者とし、個人情報の取り扱いに関しては、主任研究者に限り利用可能とします。本研究は統計分析、データ解析に関し鈴鹿医療科学大学大学院の研究協力を受けていますが、研究協力施設へデータを提供する場合は対応表を添付し、匿名加工情報を提供します。個人情報の外部使用に関しては、鈴鹿中央総合病院の外部使

用に関する規定に準じます。

6) 研究資金源及び利益相反

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

【個人情報の取り扱い】

お名前などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究について将来、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。

【問い合わせ先】

施設名：JA 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院

部署：リハビリテーション科

研究担当者：理学療法士 佐々木祐磨

電話：059-382-1311